BR-EIA110W 組立説明書
BR-EIA110K

このたびはケイアイシーＡＶラックをお買い上げいただきまして、
まことにありがとうございました。

■組立前に部品表と組立完成写真を参照して部品を確認してください。
■組立にあたってお手持ちのプラスドライバーをご用意ください。
■床やラックを傷つけないよう注意して組みたててください。

大きさ（ｍｍ）・質量
Ｗ 600×Ｈ 618×Ｄ 586　25kg

部品表

天板・底板セット
天板 ・・・・・・・・・・・・・ 1
底板 ・・・・・・・・・・・・・ 1
キャスター ・・・・・・・・ 2
（ストッパー付）
キャスター ・・・・・・・・・ 2
キャスター取付ビス・・・12

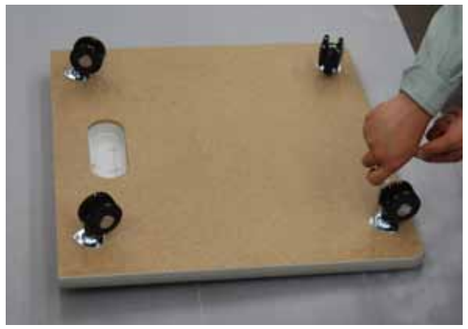
側板セット
側板 ・・・・・・・・・・・・・・ 2
背板 （上側）・・・・・・・・ 1
背板 （下側）・・・・・・・・ 1
背板取付ビス ・・・・・・・ 10
ＥＩＡマウントビス ・・・・ 16
山形ワッシャー ・・・・・ 16

ガラス扉セット
ガラス扉 （左） ・・・・・・・ 1
ガラス扉 （右） ・・・・・・・ 1
ガラスヒンジ （左側）・・・上下 1対
ガラスヒンジ （右側）・・・上下 1対
マグネットピース ・・・・・左右 1対
マグネットスペーサー ・・2
鍵 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
カバーキャップ ・・・・・・・ 4

棚板 ・・・・オプション品

1 キャスターの取付

用意する部品
●底板 1 ●キャスター 2 ●キャスター（ストッパー付） 2
■底板裏面にキャスターを取付ます。（ストッパー付を前に）
ドライバーでしっかりと締めてください。



2 底板、側板、天板、の組立

用意する部品
●底板 1 ●側板 2 ●天板 1
■側板の凸部を底板の穴に差し込み、写真のようにネジを4か所右へ回して
締め付けます。 同様にして天板も側板に取り付けます。

※側板はマグネットが上部に来るように設置します。

3 背板の取付

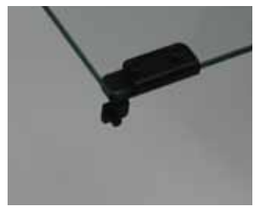
用意する部品
●背板（上下） 各１ ●背板取付ビス 10
■背板をラック背面部分にはめ込み、側板後面の枠
に打ち込んであるナットに向かってビスを締めます。

※背板（上）は機器を収納した後に取付けます。

4 ガラス扉の取付

用意する部品
●ガラス扉（左右） 各１ ●ガラスヒンジ（左右） 各上下 1対
●マグネットスペーサー 2 ●マグネットピース 左右 1対
■ガラスヒンジ下側用を写真の位置へネジが内側になるように差し込み、2つの
ネジを交互に締め付けます。（締め過ぎないように注意してください。）

※ガラス扉は右側上部に鍵が
付くように組み立てます。



※ガラスヒンジの取付位置の目安は
ガラスの小口とヒンジの端を揃える
ように取り付けます。

■ガラス扉に付けてあるヒンジの凸部を底板の内側のヒンジ受け穴に差し込み、
ガラス扉の上部をヒンジ上側用にすべりにませネジを締め付けます。
（ガラス扉を取り付ける際に天板のヒンジ受け穴にガラスヒンジ上側用をさしこみます）

※外側の受け穴にカバーキャップを取付します。

裏面につづく

■ガラス扉の写真の位置へマグネットスペーサーの保護紙をはがしてから
両側が均等になるように貼り付けます。
■マグネットピースをマグネットスペーサーの上から差し込みます。
向って左側ガラス扉に凸型、右側鍵付ガラス扉に凹型）

ガラス扉のすきま調整の仕方

■左右のガラス扉のすきまが平行にならない場合は、ガラスヒンジの位置を
左右にずらせて調整してください。

■ガラス扉は開けるときも閉めるときも、マグネットピースを静かに押してくだ
さい。

５ 棚板の設置　（オプション品）

用意する部品
●棚板　１ ●金ダボ　４

■収納する機器の高さに合わせて棚受けダボを側板のダボ穴に差し込み、
その上に棚板の裏面の溝が合うようにのせます。
＊ アンプ等、熱の出る機器の上は 20mm 以上隙間をとってください。

KIC 株式会社 ケイ アイ シー

東京営業部　〒160-0022 東京都新宿区新宿1－28－３ 川辺第2ビル
TEL 03-3357-7195　FAX 03-3357-9365
大阪支店　〒550-0014 大阪市西区北堀江2－2－17 ビジネスゾーン北堀江
TEL 06-6536-4114　FAX 06-6536-4118
名古屋営業所　〒460-0008 名古屋市中区栄1－25－17
TEL 052-231-1447　FAX 052-231-1448

安全上のご注意　必ずお守りください

●この取扱説明書で使用している表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	表示の内容を無視して誤った使い方をしたときに「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容
⚠注意	表示の内容を無視して誤った使い方をしたときに「傷害を負う可能性または物理的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容

表示用図記号の区分と説明

⚠	気をつけていただきたい「注意喚起」内容
⃠	してはいけない「禁止」内容
❗	必ず実行していただく「強制」内容

⚠ 警　告

- 組立説明書の順に組み立てて、ネジをしっかり締め付ける。（ネジの締め付けが不十分だとラックの破損及びガラス扉のワレの原因になります。）❗
- ラックに乗ったりぶら下がったりしない。特に幼いお子様いるご家庭ではご注意ください。（倒れたりこわれたりして、けがの原因となります。）⃠
- ガラスは、ぶつけたり鋭利な物でキズつけたりしない。（ワレることがあり危険です。）⃠
- 裏板は、はずして使用しない。（取り付けないで使用すると強度が不足して危険です。）⃠
- 直射日光の当たる所や、ストーブのそばなど温度の高い場所には置かない。（過熱や火災の原因になります。）⃠

⚠ 注　意

- 棚受けダボは必ず４本使用する。（１本欠けても危険です。）⚠
- 製品の改造や部品をはずしたまま使用しない。（安全のため。）⃠
- 平らなしっかりした床に設置する。（振動の多い場所には置かない。）❗
- 壁の前に設置する場合にはラック後面を壁面から１０ｃｍ以上離す。（過熱防止のため。）❗
- 搭載制限重量の表示以上に載せない。（安全のため。）⃠
- ガラス扉の開閉は静かにおこなう。（ガラスのワレ防止のため。）❗
- ラックを移動するときは、セットを取り出して移動してください。（転倒や事故のおそれがあります。）❗
- ガラス扉の開閉時に指をはさまないように注意する。（けがの原因となります。）⚠

※改良のため、仕様及び外観は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

お手入れの仕方

・通常のお手入れとして、時々乾いた柔らかい布で、から拭きしてください。
汚れがついたときは5～6倍に薄めた中性洗剤でふき取り、水拭きした後、乾いた布で、から拭きしてください。
ベンジンやシンナー系溶剤で拭いたり、ぬれたまま放置しないでください。
変色の原因になります。

取説 No.121207BR110

MADE　IN　JAPAN